

平成28年11月10日号（第167回）

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

晴れ着を着たお子さんを多く見かけるようになりました。11月15日は七五三。もともとは田畑の収穫後、氏神様に実りと子供の成長を感謝する行事でした。

最近では写真撮影だけで済ませたり、日にちにもこだわらなくなっていますが、子供の成長を祝う親の心はいつの時代も変わらないようです。



今回の阿伎留通信は、

－「入院支援管理室のご紹介」－

をテーマに入院支援管理室の岩田 看護師長よりお話しさせていただきます。

当医療センターに、今年の4月から「入院支援管理室」という部署が新しくできました。この「入院支援管理室」がどんな事をしているのか、少しご紹介させていただきます。

❀ 予定入院患者様の聞き取り ❀

当医療センターに入院された事のある方は経験があると思いますが、今までは入院することが決まると、入院に必要な説明を聞いた後に2～3枚の問診票を渡されて、「入院日までに全て記入して入院当日に持ってきてください。」と言われ、連絡先・既往歴・家族構成や飲んでいる薬など様々な事について、ご自身で記入していただいていた。それらを全て記入してくるのは、大変な事だったと思います。



そこで、入院が決まった患者様には、入院の説明が終わった後に「入院支援管理室」に寄っていただいて、今までご自身に書いていただいていた情報を、看護師が聞き取らせていただく事になりました。

❀ そうすることで何が変わるの？ ❀

患者様にも私たち医療者にも良い事があります。

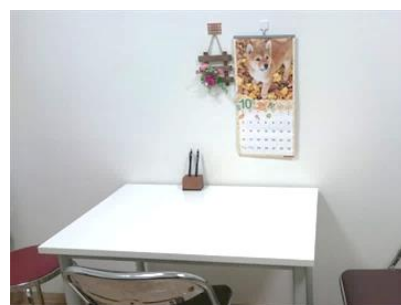
【患者様の利点】

1つ目は、問診票を記入してくる手間が省けます。お家に帰り1人で問診票を記入する必要がなくなりました。

2つ目は、分かりにくかった点や聞きそびれた事について確認いただけます。これまで外来や受付で説明を受けた際に、その場で質問できなかった経験はありませんか？ほかの方に遠慮して聞けなかった事やお話しできなかったことがあ

れば、入院支援管理室では1人ずつ個室でお話を聞きますので、些細な事からプライベートな事でも何でもお話ししていただけます。

実際に、「購入するように言われた腹帯のサイズはどのサイズにしたほうが良いか」ということから「治療や入院生活に関する不安」「ご家族の事」など、様々なご質問やご相談があります。



【私たち医療者側の利点】

医療者にとっては、入院される前に実際に患者様やご家族とお話ができるので、患者様の状態を早めに把握し、対応できるという利点があります。例えば患者様の状態に合わせて、準備させていただくお部屋やベッドの選択が事前にできるので、入院時からスムーズに対応することができます。また、食物アレルギーのある方や好き嫌い、形に工夫が必要な患者様（軟らかい方が良く、おかずは細かく刻んだ方が良く、水分にとろみをつける等）に対しても、事前に対応したお食事を準備する事が出来ます。



❀ 入院患者様のベッドコントロール ❀

入院支援管理室のもう一つの大切な役割が、ベッドコントロールです。ベッドコントロールとは、救急外来や一般外来で受診された方が当日急遽入院になった時に、少しでも早く入院できるように病棟と連絡を取り、患者様のベッドを準備する事です。基本的には担当科の病棟に入院していただきますが、個室の希望や患者様の病状に合わせたお部屋を探し、入院する病棟を決定します。

❀ 最後に・・・ ❀

患者様が快適な入院生活を送れるように、そしてご家族が安心して患者様を任せていただけるように、環境を整えるのが私達の仕事です。もちろん入院してからでもお話をお聞きします。些細な事でも結構ですので、気軽にお尋ねください。お待ちしております。



阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)